

平成21年6月発行  
通算13号

市立小樽病院広報委員会  
電話25-1211

目次

- 病院事業管理者ご挨拶 事業管理者 並木昭義……………1ページ
- 健康診断を受けよう 日帰り人間ドック……………2ページ
- 各種検診の紹介 おすすめ検診メニュー……………3ページ
- 新任医師の紹介と病院案内図……………4ページ



小樽市病院事業管理者に  
並木昭義先生が就任

平成二十一年四月から、小樽市における病院の事業形態が「地方公営企業法の全部適用」に変わり、その責任者として「病院事業管理者」を市長が任命することとなりました。

これにより初代の小樽市病院事業管理者に、元札幌医科大学教授の並木昭義先生が就任しました。

【並木管理者のプロフィール】

昭和44年 札幌医科大学卒業  
昭和62年 札幌医科大学麻酔学講座教授  
平成14年 札幌医科大学医学部附属病院長  
平成21年 小樽市病院事業管理者就任

《学会役職等》  
日本麻酔科学会理事長  
北海道医師会常任理事 など歴任

「地域医療のあり方」

事業管理者 並木 昭 義

この4月から、小樽市の2つの市立病院の事業管理者として、より良い医療、健全な経営を目指して活動しています。

組織・事業の運営を成功させるには、天地人の格言「すなわち、「天の時」、「地の利」、「人の和」が必要です。

「天の時」は、自分が時代の情勢から必要とされることです。このことに関しては、3月に大学を定年退職する、小樽病院の麻酔科を創設しており実情を知っている、病院長の経験がある、日本麻酔科学会の理事長として日本の医療に携わっている、小樽商大・小樽市との地域医療に関する学際的連携が結ばれその推進役が必要とされることなどが挙げられます。

「地の利」は、小樽市は札幌市に接し、大学及び多くの病院と連携が取りやすいこと、小樽市内の麻酔科のほとんどが私の教授時代に開設したものであり、それぞれの病院の状況を知っていることです。

「人の和」は、小樽市内の各病院長、医師会の先生方と親交・面識があることです。職員は以前に小樽病院に勤務していたことや就

任前の新聞報道等で私を知り、温かく迎えてくれていること、就任直後の2病院での私の見解・方針についての講演により理解されていると思われることです。したがって、職員を同じ方向・目的に導くことが可能であると確信しています。

市立病院の目的は、公的な立場から市民に安心・安全な医療を提供し、信頼される、快適な病院にいくことです。

市立小樽病院は、小樽市だけでなく、後志地域で唯一の多くの診療科を有する総合病院です。

しかし、最近の医療・教育制度改革により医師不足となり、戦力低下を招いているだけでなく、個々の医師の負担が増えています。さらに、施設は老朽化が進み、決して労働環境に恵まれているとは言えない状況です。

このような状況下であっても、医師のみならず、看護師や他のコメディカルは、より良い医療を提供するために涙ぐましい努力をしています。

しかし、このような状況を早急に解消しなければ重大な事態を招くおそれがあります。

小樽市立医療センター（旧第二病院）も同様です。したがって、より充実した、患者に喜ばれる、質の高い医療を行うためには、両病院が統合し、新病院で診療を行うことが必須

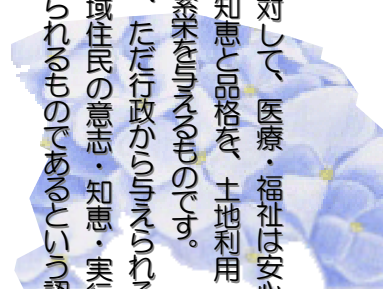
となっています。

私は、赴任して以来、各方面に積極的にあいさつ回りをし、御意見を伺いました。その結論は、市立病院を統合・新築して高度・専門医療を行うこと、他の病院・診療所がない診療科の医療を行うこと、市立病院・公的病院・医師会との連携を強め、二次医療を完結できる体制にするということです。そのため、医療情報のネットワークを確立させ、市内病院の診療状況を把握できる体制整備を行うこと、また、三次医療に関しては札幌の病院との連携を密にする必要があります。

総務省は、本年2月に住民の流出を防ぐために定住自立圏構想を公表しました。これを受けて、小樽市が中心となり、余市・仁木・古平・積丹・赤井川の北後志地区の5町村と連携して、医療・福祉・教育・土地利用・産業振興を充実させる「共生ビジョン」の策定に向けた取組を始めました。これは、小樽市の発展のため重要であり、大いに活用すべきです。この地域に信頼される医療体制を築くためにも、新病院の開設が必要となっています。

地域住民に対して、医療・福祉は安心と幸福を、教育は知恵と品格を、土地利用・産業振興は文化と繁栄を与えるものです。

地域医療は、ただ行政から与えられるのではなく、地域住民の意志・知恵・実行・責任によって作られるものであるという認識が大切なのです。





# 健康診断を受けましょう！

生活様式の多様化や、高齢化社会の進展する現代にあって、「健康である」ということは、ご本人はもとよりご家族や地域にとってもかけがえのない大切なことです。

当院では市民の皆さんの健康づくりを応援するため、4月から検診の専門医師を配置し、日帰り人間ドックやメタボ検診などの様々な検診を実施しています。

## 日帰り人間ドック

人間ドックには病気の早期発見・早期治療、個人の健康の記録と健康づくりに役立つという効果があります。  
一般的な検査項目は下記の通りとなっています。

### 《日帰り人間ドックの一般的な検査項目》

| 項 目   |             | 内 容                             |
|-------|-------------|---------------------------------|
| 診察等   | 問診          | 医師の予備的診断です。                     |
|       | 身長・体重       | 変化に注目してください。                    |
|       | 視力          | 近視・遠視・乱視などを見ます。                 |
|       | 聴力          | 難聴の有無や聞こえの程度を調べます。              |
|       | 血圧          | 循環器の異常や腎臓・内分泌・代謝系の異常の手がかりになります。 |
| 脂質    | 総コレステロール    | 脳梗塞や心臓病の原因となる動脈硬化になりやすいかがわかります。 |
|       | 中性脂肪        |                                 |
|       | HDLコレステロール  |                                 |
|       | LDLコレステロール  |                                 |
| 肝機能   | GOT         | 値が高いと肝臓の障害が疑われます。               |
|       | GPT         |                                 |
|       | γ-GTP       |                                 |
|       | ALP         |                                 |
| 代謝系   | 空腹時血糖       | 高値は糖尿病の疑いがあります。                 |
|       | 尿糖          | 血糖値が高いときに増えることがあります。            |
|       | 尿酸          | 高値は通風・尿路結石の疑いがあります。             |
| 血液一般  | Ht(ヘマトクリット) | 少ないと貧血の疑いがあります。                 |
|       | Hb(ヘモグロビン)  |                                 |
|       | 赤血球         |                                 |
|       | 白血球         | 炎症の有無がわかります。                    |
| 腎機能   | 尿蛋白         | 腎臓の病気を見ます。                      |
|       | 尿潜血         |                                 |
|       | 血清クレアチニン    | 高値は腎機能障害の疑いがあります。               |
| 心電図   |             | 心臓の働きを見ます。                      |
| 胸部X線  |             | 肺の病気の有無・心臓の大きさ。大血管を見ます。         |
| 胃部X線  |             | 食道・胃・十二指腸の病気を見ます。               |
| 便潜血反応 |             | 消化管出血の有無を調べます。                  |

◎上記の例では検診費用はおよそ29,000円となります。(検査項目は自由に選べます)

◎その他、各種がん検診もございます。

◎詳しくは事務室医事係 (25-1211 内線306) までお問い合わせください。



## 小樽病院・おすすめ検診メニュー

### メタボ検診

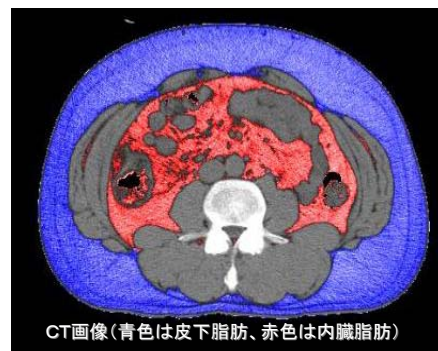
あなたは

「かくれ肥満」ではありませんか？

近年、食事の欧米化や運動不足から「肥満体質・かくれ肥満」の人が増えていきます。肥満は生活習慣病のもとになり、糖尿病や高血圧、心筋梗塞などの病気を引き起こすことがわかっていきます。

「メタボリックシンドローム」とは、内臓脂肪型肥満に加え、高血糖、高血圧、脂質異常などを合わせ持った状態のことです。

これを血液検査やCTなどで身体に負担をかけずに詳しく調べるのが「メタボ検診」です。



CT画像（青色は皮下脂肪、赤色は内臓脂肪）

●費用 3,000円  
●要予約 月々金

午前八時～午前十一時三十分  
月・火・木・金  
午後一時三十分～午後三時

●管理栄養士による「食生活改善相談」  
理学療法士による「簡単運動メニュー」の指導が受けられます。



### 動脈硬化検診

健康の秘けつは「軟らかい血管」

健康な血管は軟らかく弾力性があり、内壁が滑らかです。動脈硬化とは、血管が厚く、硬くなり、内壁にコレステロールなどが付着して血液の流れが悪くなる状態のことです。

高血圧・高脂血症、肥満、喫煙、ストレスなどの生活習慣が要因と言われています。

動脈硬化は、日本人の死因の三割を占める心筋梗塞や脳出血、脳梗塞などの生命に関わる病気の原因となります。

ご自分の血管の状態を知って、病気を予防しましょう。

●費用 1,000円  
●要予約 月々金

午前八時～午前十一時三十分  
月・火・木・金  
午後一時三十分～午後三時

●検査は簡単です

①ベッドに横になり、心電図の腕電極、心音マイク、血圧測定用カフを着けます。

②血圧を測るのと同じ要領で、わずか4分程度で検査終了。

③結果はすぐに出ます。

その後、診察で先生から説明を聞くことができます。

※メタボ検診と一緒に  
お受けになれることをお勧めします。



### 骨密度検診

骨密度でわかる「骨粗しょう症」

「骨密度」とは骨に含まれるミネラルの密度のことを言います。骨の新陳代謝のバランスが崩れると、骨の密度が減少して、やがては骨の内部がもろく、スカスカになるため骨折しやすくなります。

特に女性は更年期以降にホルモンのバランスが変化することにより、骨密度が低下しやすいので

骨粗しょう症が進行すると、日常生活行動が低下し、さらには寝たきりになってしまうこともあります。

骨粗しょう症の初期は自覚症状がありません。骨密度検診で自分の骨の状態を調べ、病気を予防しましょう。

●費用 1,000円  
●要予約 月々金

午前八時～午前十一時三十分  
月・火・木・金  
午後一時三十分～午後三時

●検査は5分程度で終了します。

かかとの骨に超音波を当てるだけの簡単な検査です。

※メタボ検診と一緒に  
お受けになれることをお勧めします。



骨密度の測定機器

## 4月からの新任医師

### 内科



医師:伊早坂 舞

出身大学 札幌医科大学  
卒業年 平成18年  
所属学会 日本内科学会  
(資格) 日本消化器病学会  
日本消化器内視鏡学会

### (検診担当)



医長:岸川 和弘

出身大学 札幌医科大学  
卒業年 昭和58年  
所属学会 日本麻酔科学会(指導医)  
(資格) 日本救急医学会(専門医)  
日本ペインクリニック学会(専門医)  
日本超音波医学会

### 泌尿器科



医長:山下 登

出身大学 北海道大学  
卒業年 平成4年  
所属学会 日本泌尿器科学会(専門医・指導医)  
(資格) 日本排尿機能学会  
日本透析医学会



医師:広瀬 貴行

出身大学 北海道大学  
卒業年 平成18年  
所属学会 日本泌尿器科学会

### 麻酔科



医師:早瀬 知

出身大学 旭川医科大学  
卒業年 平成16年  
所属学会 日本麻酔科学会(認定医)  
(資格) 麻酔科標榜医

### 研修医

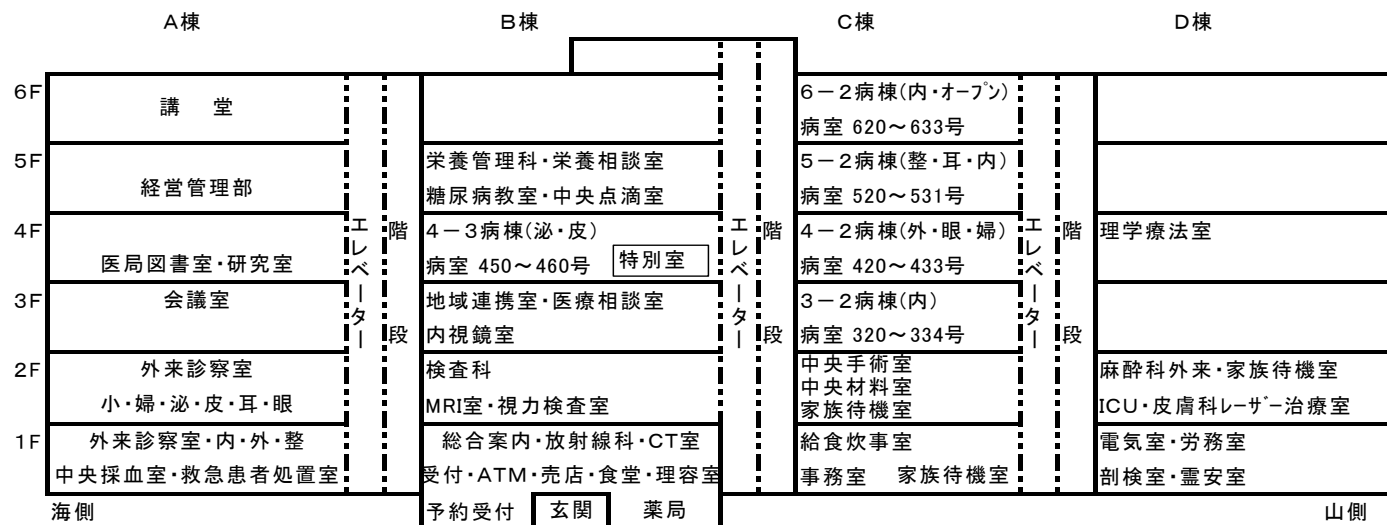


医師:立花 俊祐

出身大学 札幌医科大学  
卒業年 平成21年  
初期臨床研修医

## 市立小樽病院案内図

(4月から機構改革により一部変わりました。)



### 病院理念

良質の医療、信頼の医療を優しさと思  
いやりをもって提供する病院

地域の中核医療を担う市立病院で働く  
職員、医療人としての使命感を持ち協  
調して行動する病院

### 基本方針

- ・科学的でかつ良質・効率的な医療の提供を目指します。
- ・医療の安全管理に最大の努力をはらいます。
- ・患者さまの満足度の向上に努めます。
- ・患者さまの権利を尊重し患者さま本位の人間味あふれる医療を行います。
- ・市立病院は市の行政施策のひとつとして存在することを認識し行動します。
- ・地域の医療機関や福祉施設等の連携等により地域完結型の医療を推し進めます。
- ・医療の使命に情熱を燃やす職員集団として日々研鑽に励みます。
- ・職種、診療科を超えたチーム医療に徹底し病院の総合力を発揮します。
- ・良質で安全な医療を提供するため経営健全化に努めます。

